

#### 第4回 路面電車乗り入れを含めた岡山駅前広場のあり方検討会

平成30年2月14日(水) 10:00~12:00

岡山国際交流センター8階イベントホール

##### ■質疑の要旨 (1/3)

意見	事務局回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>本シミュレーションは、運転手が自ら考えて経路を選択しながら運行するという、人間行動をモデル化している。</li> <li>交通状況が変化すれば、人の行動として、混雑した場所を回避するといった行動変化が起こることになる。今回のシミュレーションでは、回避しないという厳し目の条件設定のもとで、あえて実施している。そうした結果においても、第1案、第2案ともに混雑しないということが確認できた。</li> <li>実証実験より今回実施したシミュレーションのほうが、将来起こり得ることを精度高く再現できていると思う。</li> </ul>	<p>—</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>本検討会に先立ち開催された作業部会で指摘された、駅前交差点北側の横断歩道の角度がシミュレーションと現状で異なること、駅東の交差点の横断歩道の有無に関する影響、三好野前交差点の横断者の有無による影響については、シミュレーション上ほぼ影響がないと思われる。ただし、指摘いただいたことをシミュレーションに反映することは可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘いただいたことをシミュレーションに反映することは可能なので、反映したものを次回の検討会で確認していただきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>タクシー協会については、今回説明のあった二つの計画案に対して、まだ関係者との十分な協議ができていないということであり、計画案の絞り込みについては、次回の検討会で検討させていただきたい。</li> </ul>	<p>(委員回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二つの計画案について、慎重に検討させていただく。それまで待っていただきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>作業部会において、早期に結論を得て進めたいという意見が出ている。一方で関係者の調整も重要だが、検討会としてはいつ頃に結論を出すということになるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日程が調整できれば、3月下旬に開催したいと思っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>第2案は、一般車がターミナルビル前交差点から進入するという案になっているが、グランヴィア前交差点における平日の夕方、及び土日祝の混雑状況を知りたいので、シミュレーションの結果を教えてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回は駅前交差点を含む市役所筋の主要3交差点を対象として説明を行っているが、グランヴィア前交差点においても交通量調査は行っており、シミュレーションも実施している。台数等集計させていただき、次回の検討会でお示しさせていただきたい。</li> <li>イオン北東交差点の左折レーン改良等、渋滞緩和に必要な対策を今後も講じていく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>路面電車が乗り入れることによって、地下街への影響がどの程度あるのかわからないので、早期に示してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下街の補強については、出来るだけ早期に、工事方法、店舗への影響等について提示させていただきたい。</li> </ul>

■ 質疑の要旨 (2/3)

意見	事務局回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅周辺の再開発事業に伴う交通への影響は、シミュレーションにどの程度、反映・考慮されているのか知りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再開発事業の影響については、いただいたピーク時の自動車の発生量をシミュレーションに取り込んでいる。</li> <li>・ 再開発事業を行っているコンサルタント会社から、ピーク時の交通量とルートをいただいております、そのデータを基にシミュレーションを行っている。</li> </ul> <p>(シミュレーション作成者回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通工学的にいうと、道路空間には車の渋滞が起こる所と自由に流れるところがあり、自由に流れている所だと、多少交通量が増えても流れるので、渋滞等の影響は低いと考えられる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ なぜ必要なのか、どの程度の効果があるのか、といったことについて明確な答えをいただけていないので、乗り入れ検討については反対せざるを得ない。</li> <li>・ 2/8 には出石地区の意見交換会で市長から説明をいただいたが、理解も納得もしていない。</li> <li>・ 今後も、市長も含めた地元との意見交換会を検討いただきたい。</li> <li>・ 検討会での議論が途中の段階で、市長が記者会見等で乗り入れすることを公表することは差し控えていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回の検討会までに、意見交換会を開催できるかどうかはお約束できないが、今後も引き続き、意見交換会は随時開催させていただきたい。</li> <li>・ 市長の参加についても検討させていただく。</li> <li>・ 本検討会は、乗り入れた場合に広場全体がどうあるべきかということをご議論いただく場であって、実際に乗り入れるかどうかの判断については、市で判断をさせていただき、予算を計上し議会で審議いただき、認められれば次のステップに移るということになる。</li> </ul> <p>伺ったご意見は市長に伝えさせていただく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動線確保、回遊性の弊害などから、乗り入れに対しては反対。</li> <li>・ 交通シミュレーションについての説明は納得した。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">—</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅前交差点の南北の横断歩道（桃太郎大通り）の時間が短くなるので、高齢者等が物理的に渡れないのではないかと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青時間が約 20 秒短縮し 46 秒となっているが、横断歩道の長さは 36m であり、安全に渡ることは可能と考えている。ただし、緊急時には真ん中に止まれるスペースを確保することも検討していきたい。</li> </ul> <p>万一、南北の歩行者だけが渡りづらくなった場合は、県警に信号の調整をお願いする。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平面乗り入れ案には費用のメリットもあったが、現在の案はかなり大がかりとなっているので概算事業費を教えてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レイアウト等の変更もあるので事業費は増加することになると思うが、今後のデザインの検討結果が大きく影響するため、デザイン検討が概ねできた段階でお示しさせていただきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 30 年度予算要求の内訳についても、具体的内容を示してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次年度の路面電車乗り入れに関わる予算としては、1 億 3 千万円を要求している。ここから財政部門の査定が入り、16 日に市長が記者会見で予算案を発表する。その予算案について議会に審議していただくことになる。</li> <li>・ 予算の内訳は、①都市計画、②騒音振動などの環境影響調査、③デザイン検討、④地下街構造物の補強に関する調査設計等の費用である。</li> </ul>

■ 質疑の要旨 (3/3)

意見	事務局回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>路面電車の既存施設の補修費用とは、具体的にどんなものか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市では、路面電車の軌道やその他施設の補修に係る費用の一部を補助金として支出している。また、電車やバスについて、バリアフリーに向けて低床車両の導入を進めており、低床車両を導入する場合、費用の一部を補助している。来年度、岡電さんが低床車両の路面電車を購入することから、その費用の一部補助を計上しており、このため、例年より予算が少し大きくなっている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>住まいについても大きく変わってきており、今までのように「つくる」よりも、あるものを上手く工夫して「使っていく」リノベーションが大切になってくる。</li> <li>これまで整備してきた社会インフラをいかに上手く使うかも、今後のまちづくりには必要なことだと思う。</li> <li>20、30年後に、より良い街になるよう考えていきたい。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">—</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>以前から、乗り入れる場合にはバス乗り場の増設を要望している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスバースを増やすことは乗り入れに併せ検討したが、大きなスペースが必要であり増やすことができなかった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>交通量調査の実施に際し、事前に説明や相談がなかったのもっと丁寧に検討を進めてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明が遅かったことについては、今後、丁寧に対応させていただきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>イオン界限において平日夕方は渋滞しており、シミュレーション結果のようにスムーズに流れてはいない。反映するデータによって結果は変わってくると思うので、必要であればバスロケーションシステム等の細かなデータを提供するので、丁寧に検討していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通量については、平日の中で最も流入量が多い時間をもってシミュレーションに取り込んでおり、的外れな結果ではないと理解している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報提供の方法について苦言もあったので、次回に向けて配慮していただきたい。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">—</p>